

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 敬愛

目標達成計画

作成日：平成 30年 3月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	49	<日常的な外出支援> 真夏・真冬は熱中症や感染症の心配があるため、外出を控えていただいている。 病院受診やご家族様と外出される方以外は、外出機会が少なく、気分転換がしづらい状況となっている。	・玄関先での外気浴や敷地内の散歩等、屋外で過ごす機会を増やす。 ・数人で順番に、近場のドライブや買い物や外食等の機会をもてるようにする。	①時候の良い時に、玄関先でおやつを食べたり、歌を歌ったり、花や野菜の世話をさせていただいたりする。 ②敷地内や近場の散歩の支援をする。 ③ご家族様の協力を得ながら、買い物や外食、ドライブ等の機会をもつ。 ④各棟合同で外出支援に取り組む。	12ヶ月
2	48	<役割、楽しみごとの支援> 認知症の進行度がまちまちで、皆が楽しんで参加できることが少なくなっている。またレクリエーションが単調になっていることも課題である。	・歌を歌うことは幅広く好まれるレクリエーションで、現在もよく行っているが、飽きないような取り組みをする。 ・入居者様が興味を持って取り組めるレクリエーションを職員が習得する。	①歌謡集を童謡や歌謡曲等、ジャンル別に作成し、複数の種類から好きなものを選んで歌っていただけるようにする。 ②各棟の職員間で、好評だったレクリエーションを共有する。 ③運動・手芸・ゲーム等、少しずつ職員がレクリエーション技術を習得し、実践する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。